

### 3.1 調査結果(対策範囲・緩み範囲の調査)

#### (1) 対策範囲・緩み範囲の調査(対象規模の想定)

調査項目	数量	備考
地形図作成(UAVレーザー測量)	1式	12/29実施済。範囲は通行確保のための検討を踏まえ、下記の範囲で計画)
熱赤外線調査	1式	12/29実施済。周辺のモルタル吹付で実施
コア抜き	1式	1/30 熱赤外線調査結果を踏まえ空洞地点を確認

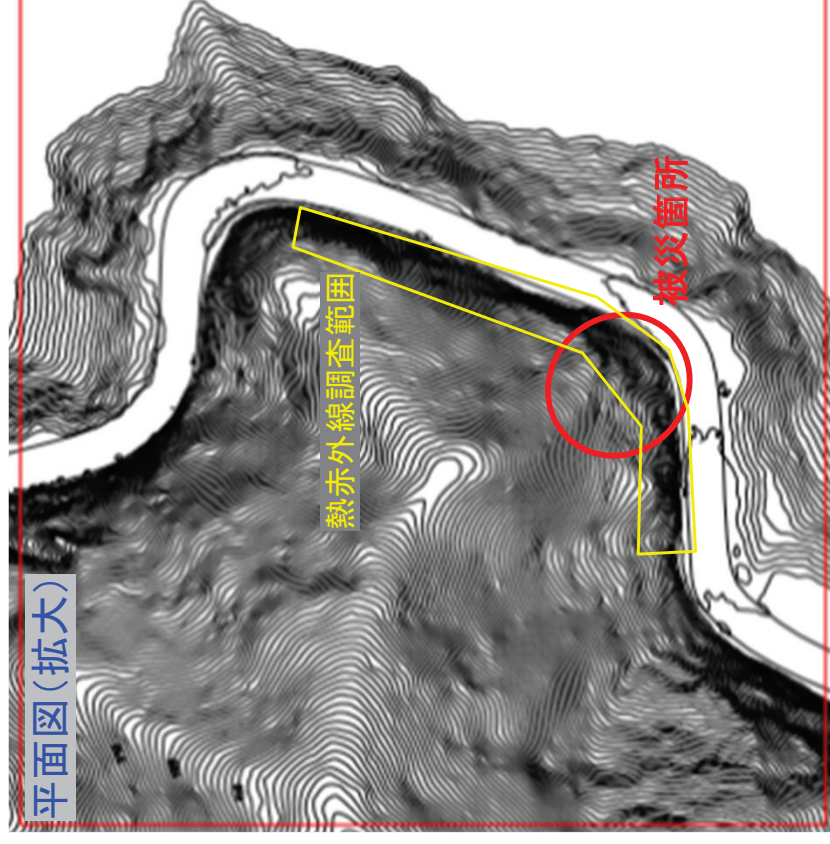
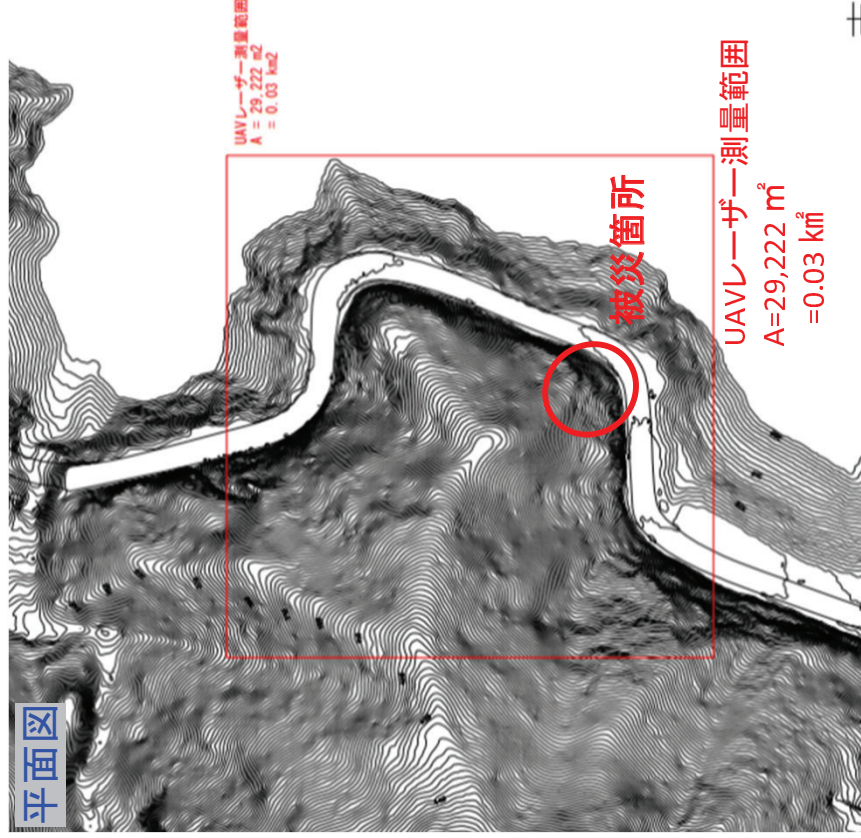
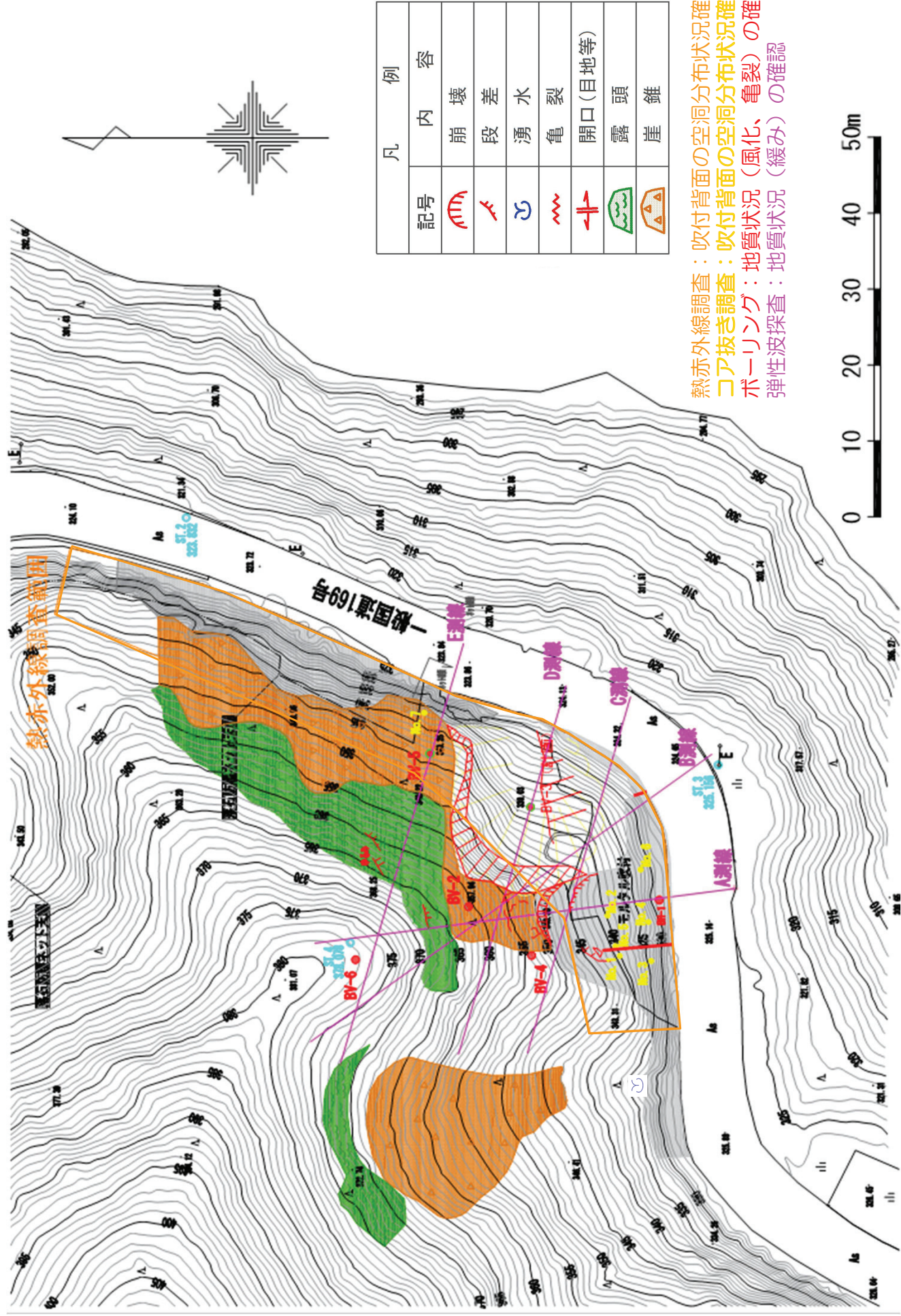


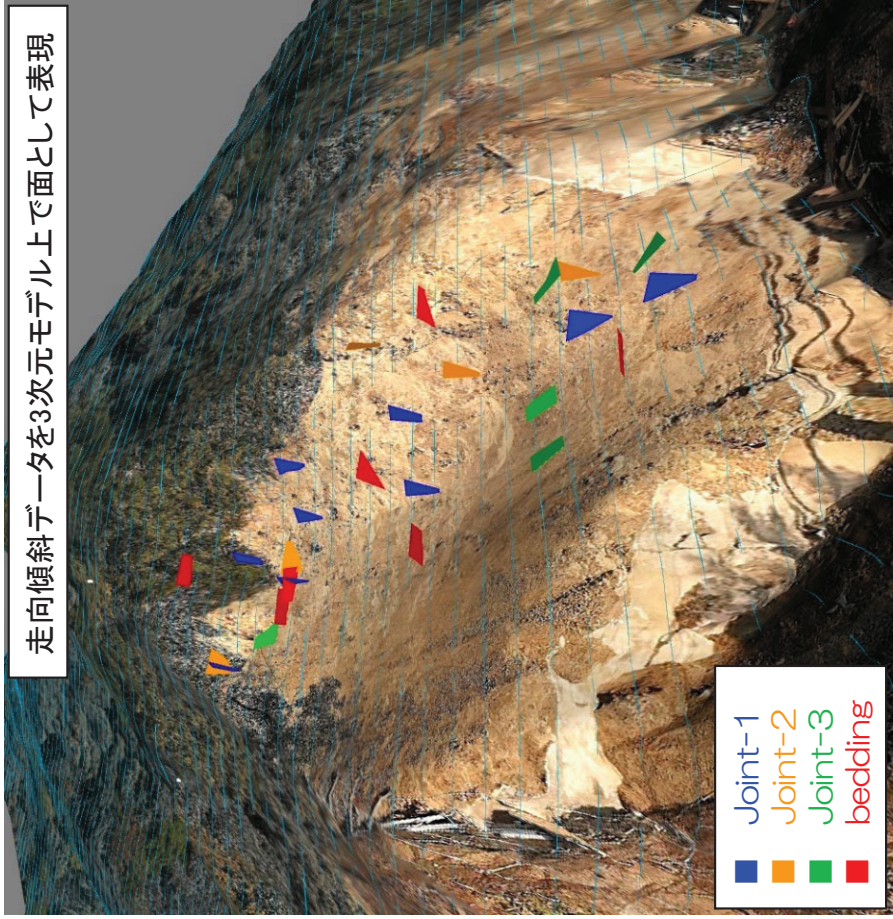
図2 調査範囲

士

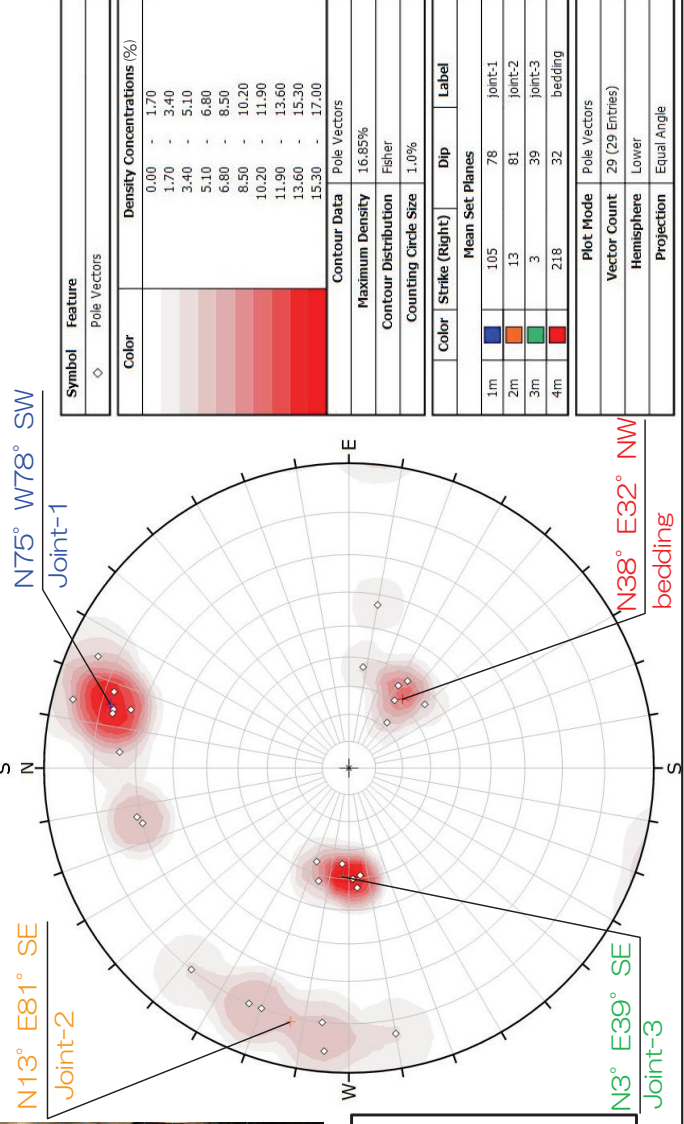
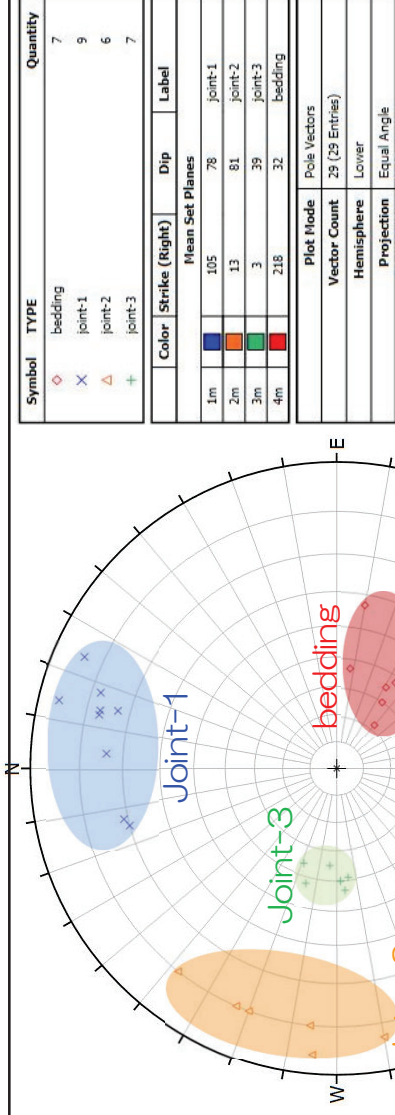
### 3.1 調査結果(対策範囲・緩み範囲の調査)



### 3. 1(1) 現地踏査結果(地質構造解析)



走向傾斜データを3次元モデル上で面として表現



◆ 代表的な地質構造  
 崩壊面に露出する岩の走向傾斜を測定し、シュミットネット解析を行った。  
 →3方向の節理(joint)および層理面(bedding)からなる4種類の地質構造が卓越  
 Joint-1 : N75° W78° SW : 概ね南傾斜の高角度節理  
 Joint-2 : N13° E81° SE : Joint1と直交する概ね西傾斜の高角度の節理(受け盤)  
 Joint-3 : N3° E39° SE : 概ね東傾斜の節理(流れ盤)  
 Bedding : N38° E32° NW : 北西傾斜の層理(受け盤)